

特集 - 「かいご」に寄り添う



今年の6月で104歳になる中村ハツエさんは、長男・元穂さんと妻・ヒロ子さんのご夫妻が面会に来る日を心待ちにしています。

この日もご夫妻の顔を見ると、目尻を下げるハツエさん。ハキハキとした口調で冗談を言い、2人を笑わせます。

そんなハツエさんは、101歳までご自宅で生活をしていました。ご夫婦の献身的な支えが、今も笑顔の絶えない面会時間をつくっています。

目次

- 2-5P 特集 - 「かいご」に寄り添う
- 6P フォトコーナー
- 7P 地方創生臨時交付金の活用事業
- 8-9P 情報ひろば
- 10P 企画紙面
- 11P information
- 12P 妹背牛イルミ 保育所・雪中運動会

特集・「かいご」に寄り添う



写真撮影協力

妹背牛町デイサービスセンター

・はじめに

少子高齢化社会における介護問題は、住みやすい地域社会の形成に向けた喫緊の課題です。

核家族化に代表される家族構成の変化や、独り暮らしをする高齢者の増加は、介護が必要な人のサインを見落とす可能性を高めます。

「老老介護」や「ヤングケアラー」という言葉が生まれ、介護をする家族への影響は、その人の立場や介護度によってもさまざま。献身的に介護を続ける家族が疲弊するケースも懸念されています。

介護による身体的・精神的な負担を軽減するための第一歩が、「相談」です。

・介護の予兆を感じたら…

- 日々の言動がちよっとおかしい
- 同じものを何度も買ってしまう
- 約束を忘れてしまいがち
- 難なく出来ていたことが難しくなる
- けがや病気で入院する

親と一緒に生活する人はもちろん、お盆やお正月に遠方から帰省する家族にとっても、介護の予兆を感じる時は、突然やってくるかもしれません。わずかな変化を感じたら、悩まず、隠さないことが大切です。

・そもそも、

介護ってなに？

親の介護は、誰にでも起こり得ることです。

ですが、どこから介護になるのかが分からない人も少なくありません。

例えば、「お母さんが以前と違う気がする。でも、こんなことじゃ連絡できない」とは思わずに、少しでも心配なことがあったり、不安を感じたら、「妹背牛町地域包括支援センター」に気軽に相談ください。



妹背牛町地域包括支援センター
(保健センター内)

TEL0164-32-2414

利用できる介護サービス（要介護 1～5の方）

心身の状態

介護が必要な度合い



高

要介護 5

要介護 4

要介護 3

要介護 2

要介護 1

要支援 2

要支援 1



低

居宅介護支援 ケアプラン（生活の設計図）の作成、相談は無料です。



居宅サービスの種類と内容

- ・訪問介護 ・訪問入浴介護 自宅で身体介護（食事・入浴など）や生活援助（掃除・洗濯など）、リハビリを受けることができます。
- ・訪問リハビリテーション

- ・居宅療養管理指導 自宅で医療従事者から療養上の管理・指導、床ずれの手当てなどを受けることができます。
- ・訪問看護



- ・通所介護（デイサービス） 施設や医療機関で日帰りの機能訓練などを受けることができます。
- ・通所リハビリテーション（デイケア）



- ・短期入所生活介護（ショートステイ） 施設に短期間入所して、医療によるケア
- ・短期入所療養介護（医療型ショートステイ） や介護、機能訓練などが受けられます。

施設サービスの種類と対象者



- ・介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 常に介護が必要で、自宅では介護ができない方。
- ・介護老人保健施設 病状が安定し、リハビリに重点をおいた介護が必要な方。
- ・介護医療院 主に長期にわたり療養が必要な方。

利用できる介護予防サービス（要支援 1・2の方）

介護予防支援 ケアプランの作成、相談は無料です。



- ・介護予防訪問入浴介護 自宅で入浴のお手伝いのサービスや、専門家によるリハビリなどの指導を受けることができます。
- ・介護予防訪問リハビリテーション

- ・介護予防居宅療養管理指導 自宅で医療従事者から療養上の管理・指導、介護予防を目的としたお世話などを受けることができます。
- ・介護予防訪問看護



- ・介護予防通所リハビリテーション 施設や医療機関で、生活機能の維持向上を目的とした機能訓練などを日帰りで受けられます。

- ・介護予防短期入所生活介護 施設に短期入所して、食事・入浴サービスや機能訓練、医療などが受けられます。
- ・介護予防短期入所療養介護

このほかに
福祉用具の貸与・購入、住宅改修
などの支援もあります。

Q 地域包括支援センターは

どんなところですか

A まずは、どこにあるかも分からないと言われることがあるので、保健センターの中にあることを知ってほしいです。

当センターについて、介護の相談をする場所と認識される方は増えましたが、実は介護に限らず、高齢者の総合相談窓口として様々な機能を持っています。

保健センターには、健康づくりをはじめ、障がいや福祉についての担当窓口もあり、また社会福祉協議会や役場の各部署ともすぐに連携がとれるので、高齢者のワンストップ相談窓口になるよう努めています。

ご本人に限らず、家族の支援も考えたり、個々の問題で終わらせず、地域全体の課題としての視点を持ち解決を図るところでもあります。



妹背牛町地域包括支援センター
センター長 南 美也子 さん

Q 相談に行きづらいという

声もあるようですが

A いざ相談に行こうという時になんとなく億劫おっくうになったり、「こんなことくらいで相談するのは…」と躊躇ためらふすることもあるかも知れませんね。

手前みそですが、仕事にプライドと情熱を持ち、気持ちの優しい職員ばかりですので（笑）お気軽にご相談ください。

まずは電話でも良いですし、ご自宅へ伺うこともできます。

Q 介護について、

思うことはありますか

A 2000年に介護保険制度が始まり、25年が経ちます。

妹背牛町の人口は減少の一途をたどり、現時点で65歳以上の人の割合は49%代とほぼ半分の人が該当しますが、時代と共に家族の形態や在り方が変わり、個々の考え方も多様になったように思います。

「自分らしい生き方」を自分なりに考え・願う時に、案外、住み慣れた地域の力が重要な鍵になることがあります。妹背牛町はちいさな町ですが、そこを町の強みと捉え、できることは何か皆で考えられるといいですね。

ご家族のケース

- ・家にばかりいて、どこにも出かけない。お風呂にも入らなくなって困った。
- ・物忘れがひどい。今まで出来ていたことも失敗するようになった。
 - ・怒りっぽくなった。前と性格が変わったみたい。
- ・一緒にいるとイライラしてくることがある。仕事にも集中できない。
- ・高齢者が入る施設はどんなところがあるの？費用はどのくらい？
 - ・ヘルパーさんとか、サービスの事を教えて。
- ・介護の認定を申請しなさいって、病院から言われました。
- ・今、入院中なんだけど、これからどうしたらいいの？
 - ・親が一人暮らしになった。



地域包括支援センターへ

よくあるお問い合わせ

ご家族
ご本人
から
ご近所

3つのケース

ご近所のケース

- ・最近、あまり見かけなくなった。
- ・ゴミを間違えて出す。ルールを守れない。
- ・目的もなく頻繁（または変な時間）にウロウロしている。
- ・相談を受けたけど、自分で包括に言えないみたいで。

ご本人のケース

- ・段々歩けなくなって、転ぶ不安が増えてきた。
- ・一人暮らしになった。何か使えるサービスとかあるの？
 - ・家族にあまり心配や手間をかけたくない。

地域包括支援センターは

高齢者の安定した生活を支援する総合機関です。

妹背牛町地域包括支援センターでは、町民の皆様がいつまでも住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、関係機関との連携を密に支援体制を整えています。

高齢者の自立した生活、尊厳のある暮らしを守る取り組みをご紹介します。



- ・介護予防、フレイル予防を推進しています。
- ・要介護認定を受けていない人にも定期訪問を実施しています。
- ・判断能力が不十分な人の財産管理を第三者が担う「成年後見制度」の活用を支援します。
- ・高齢者の権利を守るため、虐待や悪質商法の被害防止を図ります。
- ・「認知症サポーター養成講座」や「オレンジカフェ 縁」などの開催を通じて、認知症への理解を広めています。
- ・年4回の地域包括支援センターだよりを発行し、季節に合わせた介護予防を提案しています。

100歳の母親

自宅で支えた中村さんご夫妻

妹背牛町老人保健施設「りぶれ」で生活する、中村ハツエさん（103）は100歳になるまで、自宅で暮らしていました。その生活を支えたのが、長男・中村元穂さんと妻・ヒロ子さんのご夫妻です。

そんな2人にハツエさんとの生活を振り返ってもらうと、長い間、家族3人で暮らせたヒントが見えてきました。

「介護と言っても、生活全般を手伝うことはしませんでした。お母さんのために、できるだけ自分のことは自分でやってもらえるよう、自由に過ごしてもらいました。足腰に貼る湿布を半分に切ったりすることなど、一人では難しい動作を私たちに言ってもらうようにしました」

◆出来ることを支える介護

ハツエさんは、食べることが大好きです。好物は、カボチャの煮物やキノコ類。3食必ず決まった量のご飯を残さずに食べていました。

いつも家族一緒にご飯を食べていましたが、ハツエさんの背中が小さく丸まってくると、テーブルの高さが合わなくなりました。その時は、お腹を近づけることができ、キャスター付きの丸いテーブルを買い、高さを5センチほど低くして、一緒に食事を楽しむ日常を続けました。

ハツエさんは、1日の大半を居間の一人掛けソファで過ごしました。夏場は朝5時に起床し、折り紙や塗り絵の道具を持ってきて、楽しそうに指先を動かしました。疲れない姿勢を保ってもらおうと、自宅にあった、ちょうど良い高さのキャットタワーに合板を取り付けた作業台は、中村さん夫妻の手作りです。

ハツエさんは活字が好きで、毎朝1時間半かけて新聞の朝刊を隅々まで読んでいました。疲れてきたらソファでウトウトしたり、中村さん夫妻との会話を楽しんだり、みんなでテレビを見たり…。就寝する午後8時ごろまで、居間で家族との時間を過ごしました。

「介護をしているつもりはなかったので、大変だと感じることも特にありませんでした。ただ、お母さんを見てみると、辛くなる出来事がありました」

◆夜間のトイレで転倒 福祉用具を設置

デイサービスを利用していたハツエさんが白寿を迎えるころ、夜中に自宅の1階から鈍い音が聞こえてきました。2階で寝ていたヒロ子さんは目を覚まし、急いで1階にあるハツエさんの寝室へ。すると、トイレへ向かう途中に転倒し、這いつくばる姿を目にしました。

夜中もハツエさんを見守れるように、中村さん夫妻は1階で寝ることにしました。

後日、地域包括支援センターに相談。はじめは簡易トイレの設置に抵抗を感じていたハツエさんでしたが、次第に納得するようになり、介護保険サービスを利用してベッドの横に設置しました。このほか、玄関やお風呂などに手すりを備えました。

2021年6月、ハツエさんは自宅で100回目の誕生日を迎えることができました。中村さん一家が集まったお祝いパーティーでは、巻きずしやグラタンなど、ヒロ子さんの手料理を味わい、ひ孫からプレゼントのぬいぐるみをうれしそうに受け取りました。

翌年、100歳になったハツエさんは「りぶれ」に入居。自宅で夢中になっていた折り紙を今も楽しんでいます。



ハツエさん（左）の100歳を祝福する
中村さん一家の家族写真（中村さん提供）

節分の行事で鬼退治 妹背牛保育所



赤鬼から必死に逃げ回る園児たち

節分の日を前に、認定こども園妹背牛保育所で1月30日、恒例の豆まきが行われ、園児たちが豆に見立てたボールを投げて、赤と青の鬼を退治しました。園児たちが節分にちなんだ歌を歌っていると、突然、怖い顔をした2体の鬼が現れました。はじめは泣いていた園児たちも、保育所の先生が連れ去られそうになると、勇気を振り絞ってボールをぶつけ、鬼を退治。最後は仲直りをして、みんな記念撮影をしました。

バスガイドは町長 ツアー客をおもてなし



バスガイドとして妹背牛を案内しながら、町の魅力をPRする田中町長

田中一典町長がバスガイドを務める日帰りツアーが1月26日、町内で行われ、札幌圏のツアー客25人が妹背牛を巡る観光を満喫しました。北海道中央バス（小樽）の人気旅行商品で、田中町長がユーモアを交えて町の魅力を伝えました。一行は郷土館を見学した後、伝統芸能の獅子舞やこがね太鼓を鑑賞。昼食後にカーリング体験を楽しみ、大黒屋菓子舗で土産を購入した後、ペペルの温泉を満喫しました。

「円安」「円高」どっちがお得!?



サイコロの出目によって「円安」か「円高」が決まるゲームで盛り上がる児童

妹背牛小学校は1月24日、金融リテラシー授業を行い、6年生10人が変動する為替レートの仕組みについて学びました。金融リテラシー向上の支援を目的とした、北空知信金の教育支援プログラム。野村證券旭川支店の担当者が講師を務めました。児童はサイコロを振って「円安」か「円高」を決めるゲームで、商品を輸入するタイミングを考えていました。

児童の安全に 土木技士会が除雪ボランティア



校舎の雪庇落としに汗を流す土木技士の会員ら

妹背牛町土木技士会（高橋幹夫会長）は2月13日、妹背牛小学校の校舎の雪庇落としと、自転車小屋の屋根の雪下ろしをボランティアで行いました。この日は、会員企業の社員ら21人が参加。作業手順や注意点を確認した後、タイヤショベル4台を使用して屋根から落とし、雪を取り除きました。高橋会長は「今後とも会員が丸となって、子どもたちが落雪事故に遭わないように活動を続けていきたいです」と話しています。

令和6年度
物価高騰対応重点支援
地方創生臨時交付金の活用事業

エネルギー・食料品価格などの物価高騰の影響を受けた地域住民の皆様の生活を支える物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した支援事業をご紹介します。

低所得者支援枠分

【妹背牛町住民税非課税世帯支援給付金】

事業費 15,028,000 円（事業費込）

- ① 住民税非課税世帯 462 世帯にそれぞれ 3 万円を給付。
- ② ①への子ども加算として 18 歳以下の子 31 人に一人当たり 2 万円を給付。

推奨事業メニュー分

【消費下支え活性化促進支援金

（2月末まで商品券の配布）】

事業費 21,792,000 円（印刷代等込）

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた町民の皆様全員（2,565 人）に一人当たり 8,000 円分の商品券を交付。

転出届・転入予約は、マイナポータルで！

マイナンバーカードを所有している人は、マイナポータルからオンラインで転出届および転入予約（来庁予定の連絡）ができます。

詳しくは、デジタル庁ホームページをご覧ください。
※マイナポータルを通じて転出届の提出をした後は、別途、転入先市区町村の窓口で転入届等の手続きが必要です。

引越し手続きについて
マイナポータル



引越し手続き
オンラインサービス
デジタル庁



スマートフォン用電子証明書搭載サービスは、対応する端末をお持ちの方が、マイナンバーカードを持ち歩くことなくスマートフォンだけで本サービスを利用できます。

デジタル庁政策ページ
「スマホ用電子証明書搭載サービス」



国家公務員の採用試験

国税専門官

財務専門官

労働基準監督官

	1995（平成7）年4月2日から2004（平成16）年4月1日生まれの者		
受験資格	2004（平成16）年4月2日以降生まれの者で大学を卒業する見込みの者など別に定めるもの	2004（平成16）年4月2日以降生まれの者で次に掲げるもの (1) 大学を卒業した者及び2026（令和8）年3月までに大学を卒業する見込みの者 (2) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び2026（令和8）年3月までに短期大学又は高等専門学校を卒業する見込みの者	2004（平成16）年4月2日以降生まれの者で次に掲げるもの 大学（短期大学を除く）を卒業した者及び2026（令和8）年3月までに大学を卒業する見込みの者 人事院が①に掲げる者と同等の資格があると認める者
申込受付期間	2月20日（木）9：00～3月24日（月） 申し込みはインターネットにより行ってください。		
申込方法	URL https://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html		URL https://www.jinji.go.jp/saiyo/siken/sennmonnsyoku_daisotsu/rouki/rouki_daisotsu.html
試験日	第1次試験 5月25日（日）		
	第2次試験 6月23日（月）～7月4日（金）のうち指定する日	第2次試験 7月1日（火）～7月4日（金） 第1次試験合格通知書で指定する日時	第2次試験 7月8日（火）～7月11日（金）の指定された日
問い合わせ先	札幌国税局人事第2課採用担当 TEL011-231-5011	財務省北海道財務局人事課人事係 TEL011-709-2311	北海道労働局総務部総務課人事第一係 TEL011-709-2311

闇バイトは犯罪です！ 妹背牛駐在所 TEL0164-32-2052

1 「ホワイト案件」は「ブラック案件」

通常のアパートでこんな言葉は使いません。
「ホワイト」という言葉が出てきた時点で「ブラック」です。

2 そもそも稼げません

「高額収入」という言葉に踊らされて応募して、犯罪に加担してもそもそも収入は得られません。得られたとしても最初のうちに少額です。

その後は脅され、使い捨ての駒としていいように使われるだけです。



3 若い人だけが応募すると思いませんか？

今報道されている闇バイトに関わっている者たちは若い人ばかりですが、首謀者たちは使い捨ての駒を探しています。誰でもいいのです。

「自分が選んだバイトは大丈夫」と思いませんか？

4 犯罪に加担する前に警察に相談を！

犯罪に加担した者達の悲惨な末路は報道されているとおりです。安易に応募してしまった、個人情報を伝えてしまったなどがあったとしても犯罪に加担する前に、どうか警察に相談してください。家族や知人が巻き込まれている可能性があっても情報をください。警察はあなたやあなたの家族を守ります。

住民基本台帳の閲覧状況について

閲覧ができる場合

- ・国又は地方公共団体の機関が、法令で定める事務のために必要である場合
- ・統計調査、世帯調査、学術研究その他の調査研究のうち公益性が高いと認められるものの実施のために必要である場合
- ・公共的団体が行う地域住民の福祉向上に寄与する活動のうち公益性が高いと認められるものの実施のために必要である場合

【お問い合わせ先】

役場住民課住民グループ TEL 32-2031

「住民基本台帳の一部の写し」 の閲覧制度

住民基本台帳の閲覧は、個人情報保護に十分留意した原則非公開とする制度に改められています。

令和6年の閲覧状況は、下記のとおりです。

閲覧者氏名または名称	閲覧事由・利用目的	閲覧年月日	閲覧した住民の範囲
自衛隊旭川地方協力本部	陸上自衛隊高等工科学校の生徒に関する募集事務	令和6年4月16日	平成21年4月2日～平成22年4月1日生まれの男子

「雪崩（なだれ）」にご注意ください

3月に入り暖かくなってきましたが、山間部にはまだ多くの雪が残っています。この時期に、スキーや雪山登山などのウィンタースポーツを楽しむ方も多いと思いますが、雪山では「雪崩」への注意が必要です。

雪崩は、「表層雪崩」と「全層雪崩」の大きく2つのタイプに分けられます。表層雪崩は気温が低い時期に大雪が降った後によく発生します。春先に気温が高く

札幌管区気象台天気相談所

TEL (011) 611-0170

気象警報・注意報
【気象庁ホームページ】



なると、雪解け水が地面と積雪の間にたまることにより、全層雪崩が発生しやすくなります。

雪崩はスピードが速いため、発生に気づいてから逃げ出すことは困難です。

気象台では、雪崩が発生するおそれがある場合は、「なだれ注意報」を発表し、注意を呼び掛けていますので、最新の気象情報をご確認ください。

※政府広報オンライン「最大で時速 200km ものスピードに！雪崩（なだれ）から身を守るために」より一部引用
(URL : <https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201311/4.html>)

学生納付特例制度の申請について

【お問合せ先】 役場住民課住民グループ TEL 0164-32-2031

国民年金は、20歳以上であれば、学生も加入、国民年金保険料を納付しなければなりません。

しかし、ご本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」があります。

対象となる方は、学校教育法に規定する大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校（修行年限1年以上である課程）に在学する学生等で、ご本人の前年所得が下記の計算した金額以下であることが条件です。

ただし、学生納付特例制度で保険料が猶予されている期間は、年金額に反映されないことから、将来受け取る年金額を増額するためにも、後から納付（追納）することをお勧めします。※10年以内であれば納付できます。

学生納付特例制度の承認期間は4月から翌年3月までの1年間となりますが、承認を受けた次の年度も在学予定である場合には、4月初めに再申請の用紙が届きます。

引き続き、学生納付特例制度の申請を希望される場合は、必要事項をご記入の上、ご返送ください。

《所得基準》

128万円 + 扶養親族等の数 × 38万円 + 社会保険料控除等で計算した額以下

自動車税種別割の住所変更をお忘れなく

自動車税種別割は、4月1日現在の登録に基づいて課税される税金です。

■引越越しで住所が変わったときなどは、変更登録をしてください。

次の場合は運輸支局で登録手続きが必要です。

- ・住所が変わったとき（変更登録）
- ・自動車を売買したとき（移転登録）
- ・自動車を使用しなくなったとき（抹消登録）

令和7年度の自動車税種別割納税通知書を確実にお届けするために、3月中に手続きをお願いします。

■変更登録が間に合わないときは…

道税ホームページの「自動車税種別割住所変更手続」から納税通知書の送付先の変更をしてください。

北海道 自動車税 住所変更 で検索

【お問い合わせ先】

札幌道税事務所自動車税部 TEL011-746-1190

令和7年度前期技能検定受検者募集

受付期間

R7年4月7日（月）～4月18日（金）まで

受検資格

1級、単一等級、2級、3級の各級によって実務経験の年数などが異なります。経験年数の短縮、受検手数料などの詳細は、空知地方技能訓練協会までお問い合わせください。

実施職種

造園、とび、建築板金、建築塗装、左官など

問い合わせ先

空知地方技能訓練協会まで
滝川市流通団地3丁目6番23号
スキルアップセンター空知内
TEL：0125-24-1880 FAX: 0125-23-5261

あぶない！ダムからの水に注意しましょう

北海道企業局鷹泊発電管理事務所
TEL0164 - 28 - 2261



雨竜川上流の鷹泊ダムでは、これから雪解け水などでダムに流れてくる水が多くなった場合は、放流することがあります。川の水が増え大変危険ですのでダムから放流するときは、音声放送とサイレンでお知らせしますので、河原や川の中に入らないでください。

広報「もせうし」が北海道広報コンクールで初めての特選に！

妹背牛牧場が特集された広報「もせうし」3月号を持つ、佐々木さん夫妻と、広報担当の地域おこし協力隊の芳形隊員（中央）



2024年3月に発行した広報「もせうし」3月号が、第71回「北海道広報コンクール」広報紙・町村の部で、初めて特選に選ばれ、令和7年「全国広報コンクール」への推薦をいただきました。

北海道広報コンクールは昭和27年から毎年実施しており、道、道市長会、道町村会で構成する広報広聴技術研究会実行委員会が主催しています。

今年は5部門に61団体が133点の作品を出品。広報紙・町村の部には、32点の応募がありました。

広報「もせうし」3月号の特集は、家畜を快適な環境下で飼育する「アニマルウェルフェア」に取り組む「妹背牛牧場」です。牛と家族のように仲良く接する酪農家の佐々木さんご夫妻からお話を聞き、表紙から5ページまでの紙面にまとめました。

審査員からは「ユーモラスな吹き出し、『妹背牛』と『牛』をかけた遊び心など、作り手の情熱が伝わる」「アイキャッチの小見出しが効果的で、ページごとのリズムミカルな場面展開と相まって楽しく読み通すことができる」などと、講評をいただきました。

また、2024年8月に発行した広報「もせうし」8月号の表紙の写真が、一枚写真・市町村の部で入選しました。

認定こども園妹背牛保育所の協力を得て、遊水公園うららのウォータースライダーで水しぶきを上げる園児の姿を活写しました。



広報もせうし
3月号



広報もせうし
8月号

となりの外国人

担当：ズオン・ティ・フォン

妹背牛神社で
初詣をするベトナム人

ベトナム人の地域おこし協力隊員が町内の外国人を紹介する企画です。

時間が経つのは本当に早く、1年間もあっという間に過ぎちゃいました。このコーナーは今回が最終回となりますが、これからも協力隊の活動などでお世話になると思いますので、よろしくお願いします。

今回のお話は年末にさかのぼります。お正月の準備をする日本人を見てみると、私はなんだか実家のことが懐かしくなりました。

日本に住んでいる外国人にとって、お正月は楽しい時間でもあり、寂しい時間でもあります。うれしいのは実家にいる家族が元気なこと。寂しいのは、また1年間、大切な人との貴重な時間を一緒に過ごすことが出来なかったことです。

でも幸いなことに、日本に住んでいても、いつもそばに同郷の友達があります。大晦日に大掃除をして、忘年会で2024年のことを振り返りました。元旦に、みんなと妹背牛神社へ行き、初詣の雰囲気を楽しみました。

初めて日本の神社に行く友達が、真面目な顔で私に聞きました。

「お祈りする時は、日本語？それともベトナム語？」

私は笑いながら言いました。

「神様は、心の声を聞いていますよ！」

2025年が始まる日、外は寒くても、みんなと一緒に過ごした何気ない時間がとても暖かく感じました。



イベント情報

3 / 15 ▶▶ 4 / 14

妹背牛診療所 TEL32-2475

休診日 日・祝日、第1・3土曜日

午後休診 第2・4水曜日と土曜日

イベント内容	日程（祝日除）	時間	場所
ふまねっと運動講座	毎週水曜日	13:30～	わかち愛 もせうしひろば
ほっと茶屋	毎週金曜日	10:00～	
まちかどサロン	3月27日（木）	10:00～	
ノルディック ウォーキング体験会	3月25日（火） ※事前申し込み必要 妹背牛町社会福祉協議会 TEL34-8590	10:00～	総合体育館
サーキット トレーニング	毎週木曜日 ※3/20（木）は 3/21（金）に変更	13:30～	保健センター

深川医師会
休日当番表



3月	2日	9日	16日	20日	23日、30日
当番医院	深川市立病院 6条6番1号 0164-22-1101	深川市立病院 6条6番1号 0164-22-1101 《担当医院》 津田こども クリニック	深川市立病院 6条6番1号 0164-22-1101	齋藤整形外科医院 7条9番38号 0164-23-3737	深川市立病院 6条6番1号 0164-22-1101

広報紙のデジタル
版はこちらから！



妹背牛町 HP



Facebook



Instagram

まちのデータ

2月1日現在
()内は前月比

人口	2,553人	(-12)
男性	1,203人	(-8)
女性	1,350人	(-4)
世帯	1,347世帯	(-7)

妹背牛町社会福祉協議会に寄付 ご厚志ありがとうございました

寺田 美津枝 様(1区)
故母 鈴木 かつゑ 氏 死去に際して

広報担当 芳形 吾一

冬を彩る光景の一つに、イルミネーションが挙げられます。妹背牛町中心部に育つ高さ20層のシラカバに取り付けられた約1万3千個の電飾。白と青の明かりが幻想的な景色を創り上げます。

この場所は、かつての名門、旧妹背牛商高バレー部の合宿所跡地です。イルミネーションの設置は、卒業生の思い出をつくらうと、町民有志が材料費や電気代に充てる寄付金を集め、2007年から始まりました。

20年近く、関係者の善意によって支えられてきた冬の風物詩は今年、イルミネーションの周りでイベントが開催されるまでに成長しました。雪の上を歩くと走り回る親子。白い息を吐いてアツアツの豚汁に舌鼓を打つ家族。たぎ火で暖を取りながら久しぶりの再会を喜ぶ友人。イルミネーションの優しい明かりは、冬場の外出を楽しむ人たちの温かい思い出となって、来場者一人ひとりの心に灯りました。

編集後記



ユニバーサルデザイン (UD) の考え方に基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォント (字体) を採用しています。



第1回 妹背牛イニニ
[2006]

